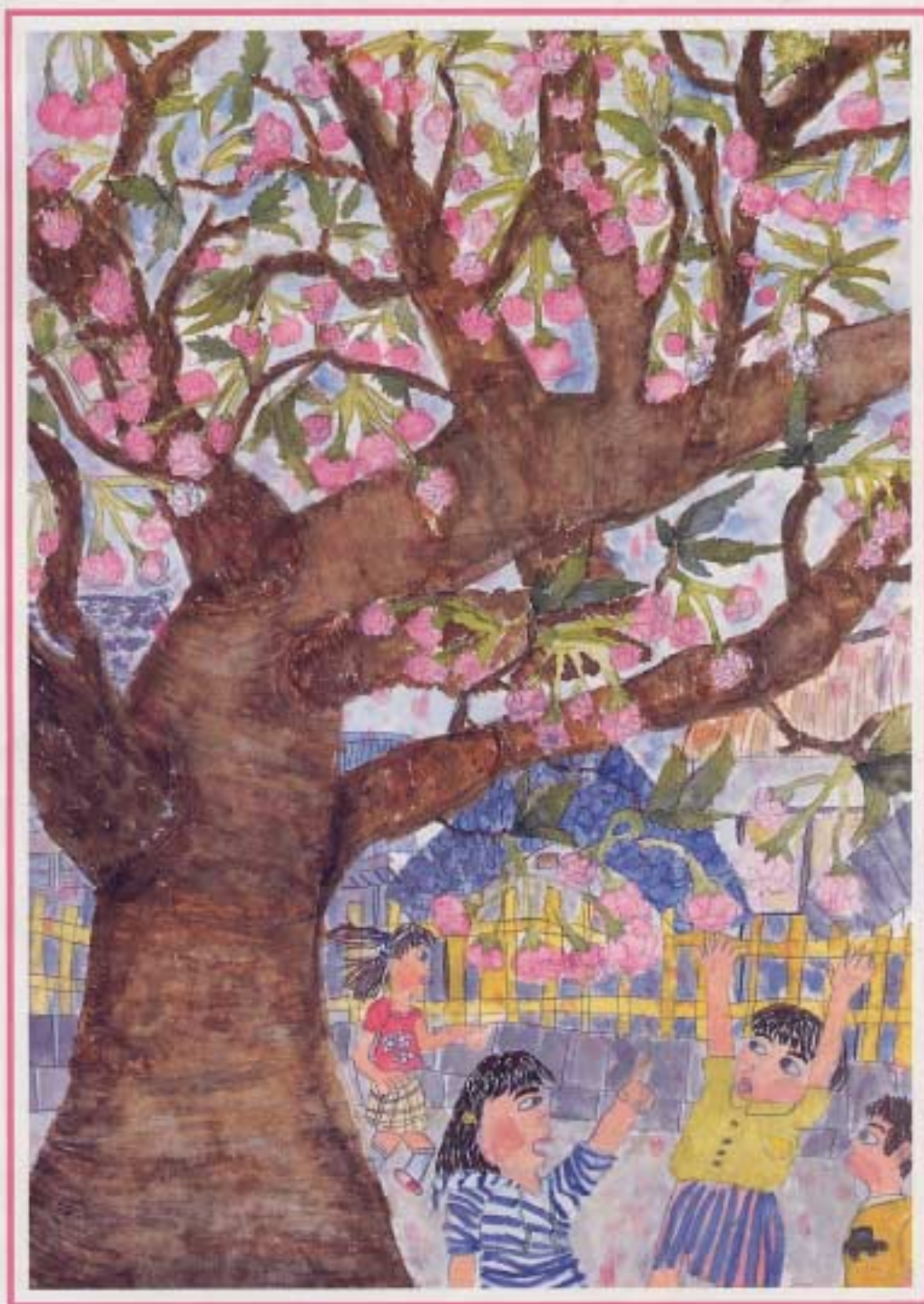




第10号

1997.4



社団法人 千葉県緑化推進委員会

# おいでよ! 森とあそぼー!! 教育の森との出会い

ご存じですか? 「教育の森」って…。平成4年度から、小学校5年生の社会科に森林・林業の科目が復活。全国で林野庁を中心に森林・林業教育が展開されています。千葉県では農林部林務課が中心となり、平成5年度から「教育の森」制度がスタート。これは、学校近くの森林を、所有者の協力を得て野外活動や自然観察のフィールドにしたり、間伐や枝打ちなど体験の場として提供する仕組みです。

そこで、教科書だけでは分からない、体験学習を通して学べる教育の森を紹介します。

さて、森は子供たちに何を語りかけてくれるのでしょうか。



## 教育の森の仕組みは?

教育の森は、そもそも森林所有者の無償開放の上に成り立ち、子供たちの笑顔だけが報酬となるボランティア制度です。ですから、所有者にはまず主旨を理解してもらうとともに、負担のかからないような配慮を行っています。利用する場合は、県内10ヵ所にある県の出先機関の支庁産業課が責任をもって調整。林業経営に支障はありません。また、所有者の申し出により知事が認定します。認定条件は次の通りです。

面積 0.1ha以上  
所在 4km以内に小・中学校があること  
所有形態 民有林であること  
認定期間 5年間

現在、53市町村に99ヵ所の教育の森が認定されています。

## 利用したいけど方法は?

利用者は、学校または社会教育関係者、一般団体の野外活動などにも利用できます。申し込みは各支庁産業課へ。日時、内容などは森林所有者と調整の上、決まります。

また、支庁産業課に申し出ると、必要ならばカマ、ノコギリ、ヘルメットなどを無料で貸し出してくれます。さらに林業改良指導員が参加して、森の果たす役割や林業についてなど、いろいろアドバイスしてくれます。

ところで、実際に教育の森を活用している学校を訪ねてみました。

開校3年目の白井町立桜台中学校は、平成8、9年度に2回利用。佐倉市太田の“ぎょうせいの森”で、1年生が体験学習をしました。

事前にビデオを見てそれぞれがテーマを決め、グループに分れました。林業改良指導員が来校し、森林の働きや林業の大切さの講義を受けました。当日は、引率の先生、呼びかけで集まった保護者、林業改良指導員や森林インストラクターの方々も参加。体験学習は、昼食をとりながら、たっぷり時間をかけて森を感じてもらうところから始まりました。普段、森に入ったことのない生徒たち。足の裏に感じる土の感触、木々のざわめき、におい、鳥の声…。「森はやさしかった」と、こんな言葉が生まれました。その後、間伐、枝打ち、玉切りの作業。そして皆で汗水流し、2時間かかって切った材木が、約1,200円にしかならないことを知り、生徒たちはガックリ。でも、その数字から林業の大変さと、ボランティアの重要性を認識したようです。後日、グループ別に発表。「テーマに対する結果は別として、生徒の言葉を併りれば、林業の“しんどさ”を体験できました。お金には換えられないボランティアの大切さも体で感じ取ったようです」と、齋藤恵理子先生。



問い合わせ先  
県庁林務課林業専門技術員室  
043-223-2954

目隠しをして木々を伝い歩く“目かくしトレール”。「目の不自由な人たちのこわい気持ちがわかった」という感想も、遊びの中からできた

### 教育の森のしくみ





写真提供  
 吉野 儀 氏  
 千葉県農林部林務課  
 白井町立桜台中学校  
 木更津市立八幡台小学校

**ふかふかの森**

また、木更津市立八幡台小学校では、3年前より学校から歩いて20分の上烏田教育の森を活用。昨年、子供たちに募集して、「ふかふかの森」と命名。5・6年生が、遊びを通しての体験学習を行っています。

子供たちのほとんどは、森の中で遊ぶ機会がありません。「ふかふかの森はほんとうにふかふかしていました。とてもあったかいかんじがしました」、「いろいろな鳥の声が聞こえたり、森に入るなり空気のおいもちがいました」と、驚きと感動の連続。「自然に触れることによって、子供同士も普段とは違ったかかわり方をします。子供なりのとらえ方で、空気のおいなどを感じ取ってくれば、それが一番です」と、鈴木克之先生。「経験不足の子供たちに何かを体験させてあげたい。私たちもまだ手探り状態ですが、内容を増やして回を重ねていくうちに、もっと何かが見えてくるような気がします」と、宮下育夫先生。



教師以外の専門の人の話も貴重な体験。「森林を守るために私たちにできること」、「林業の仕事と現状」などテーマはいろいろ。発表準備に真剣に取り組む生徒たち

子供たちが求めているのは、冒険や発見のある森（自然）です。最後に、そんな女の子の作文を紹介します。

「こんなに身近な所にあるのに、いままでしらなかった植物たちがたくさんあった。思いもよらぬところには、かわいい実やかわいい小さな花もあったりする森、なぜかわからないうちに、森にとけこんでいた私。なぜか、私は森の中にすみたくなってきた。この日は、いっしょうのたからの日になったと思う」。



「シイタケはこんなふうにできるんだ！」シイタケ狩りも初体験

「木は重い…」と、思わず口に出た言葉。一見、軽そうに見える木も案外重い。それが分かっただけでも大収穫



「フィールドビンゴ」は木の実やキノコを探し当てるゲーム。皆、真剣に観察



千葉の散歩道

印旛沼湖畔  
(佐倉市)

# 花も緑も見たい よくばりな湖畔の そぞろ歩き



カラフルな春の花、チューリップ。そのチューリップが10数万本も咲く「佐倉チューリップまつり」(4月中旬)を皮切りに、佐倉市の自然は、美しい季節を展開し始めます。散歩のスタートは、この祭りの会場となる「佐倉ふるさと広場」から。まず目を引くのが、市制40周年を記念し平成5年に建設された「リーフデく友愛」という名前の風車。日本初の水くみ型オランダ風車で、直径27m以上もある羽根を持ち、実際に運転されています。この広場では、春のチューリップまつりに続き、8月には国際花火大会も開催されます。

さて次はいよいよ緑の中に入ります。佐倉市内でも最も緑の多い地域で、印旛沼を一望できる飯野台に登ると、そこには「湖畔荘ファミリーオートキャンプ場」、キジバトやコジュケイなど野鳥の観察ができる「野鳥の森」、山林およそ25haを活用して自然散策、森林浴の場として親しまれている「市民の森」、日本最長級のミニ鉄道やジャガイモ掘りができる「佐倉草ぶえの丘」などが点在します。

中でもファミリーにおすすめなのが「佐倉草ぶえの丘」。豊かな自然体験を通じて情操教育をという意図で誕生した施設で、およそ9.3haの園内には自然のままの緑がいっぱいです。また、200匹のコイノボリが泳ぐ五月祭や、秋の収穫祭など、いろいろなイベントもあります。マイペースでできるオリエンテーリングにもぜひチャレンジを。

- 交通/佐倉ふるさと広場までは、京成臼井駅から徒歩30分。またはバス5分、徒歩15分。JR佐倉駅からバス20分、徒歩15分。車の場合は東関東自動車道佐倉ICから30分。その他の施設へはJR京成佐倉駅からタクシーで10~15分
- 利用料/無料。ただし「佐倉草ぶえの丘」は入園料あり
- 休園日、その他の問い合わせは、佐倉市商工観光課(043-484-6146)へ

## PART 3 山歩きを始める前に…

突然ですが、あなたは山歩きの経験はありますか？最近、中高年層の登山者が増え、トラブルも続出しています。そこで今回は、田中正八郎・はるみさん熟年のご夫妻にご登場いただき、体験を通して山歩きの楽しみ方、そしてコツをアドバイスしていただきました。だれでもできる山歩き。が、自然を傷つけないでください。ビギナーの方は必読です。

### その1 良きパートナー

山らしい山に登ったこともない田中さん夫妻は、1343kmの東海自然歩道を16年の歳月をかけて歩き通しました。“東海自然歩道を歩く”これがご夫妻の最初の目的。現在は、全国に9,277本もある幹回り5m以上の巨木巡りを楽しんでます。その一方で“緑の国勢調査”に登録し、“身近な生きもの調査”に参加。95年度にはセミ、96年度はひつつきむし、97年度はツバメを調査しています。バードウォッチング、野草や樹木などの自然観察、写真、スケッチ、俳句など、目的があると山歩きは何倍にも楽しめます。またご夫妻は、お互いに良きパートナーを得て、同じ目的を持つことの楽しさを味わっています。「二人が同じ目的を持つことで会話が生まれます。楽しみを共有できます。1つでも多くの話題作りが、これからの人生に大切なことだと思うんです」と。ビギナーの一人歩きは危険。グループでの山歩きをお勧めします。指導者が同行すればなおベストです。

### その2 無理は禁物！

野宿や自炊はしない。つまり、余分な荷物は持たず、決して無理はしない。これが田中さん夫妻の基本。ビギナーにも当てはまることです。最初から大掛かりな山歩きをすると、長続きしないのが常。それに、当たり前ようですが、山歩きの前日には十分な睡眠が必要。若いころの経験や体力は、今は通用しないと思ったほうが無難です。無理は禁物。体調を整えることが山歩きの第一歩です。



### その3 自然に感謝！

「重くてごめんね」。足場が悪く、細い木につかまったときのお詫びの言葉とか。常に、自然に感謝しながら謙虚な気持ちになることが大切です。その気持があれば山野草を採ったり、ゴミを捨てたりはできないはず。自然は心を豊かにしてくれます。感動と素敵な出会いが待っています。



#### 田中さんのリュックの中身

地図と磁石は必需品。道がなかったり、標示板が当てにならないこともある。特に地図は、地元に行かないとその場所のものは手に入らない場合が多い。全国地図販売所があり、ふよお堂（☎03-3271-2451）は、郵送してくれるので便利。

●田中正八郎さん（1927年東京生まれ）・はるみさん（1932年東京生まれ）プロフィール  
1957年結婚。2人の息子さんが中・高生になった1975年、東京・高尾山から東海自然歩道の旅をスタート。1991年、終点の大阪・箕面公園にゴールイン。1993年『歩いた、よかった、ふれあった。』を発行。全国巨樹・巨木の会に入会。現在、巨木解説員。

#### 特にビギナーに重要な3つのアイテム

**登山靴**  
足元を固めるのは最大のポイント。軽登山靴、トレッキングシューズがベスト。今は、軽くて防水加工を施したスグレものが販売されているので、アウトドアショップ等で相談。

#### 下着

汗を吸収し、しかも通気性の良いクロロファイバー、ポリプロピレンなどの新素材のものを着用。綿は汗を吸収するが、体熱を奪ってしまう。女性は金具入りの下着は雷のときに危険。

#### 雨衣

防水性に優れ、通気性の良いセパレートタイプが便利。専門店が相談。

オチユラリストになろう！



### 緑 自 慢

市原市の南部、標高194mの山間にある市原市立月出小学校。自然の懐に抱かれ、緑に囲まれた小さな学校は今、菜の花、パンジー、サクラ草、キンセンカ、マリーゴールドなどが花盛りです。夏から秋にかけてもカスミ草、アサガオ、ホウセンカ、コスモスなど、1年を通して約50種類もの花々が、250から300のプランターにあふれています。同校は県内で2番目に小さい学校。児童7人、校長先生ほか教職員7人、15人全員が力を合わせて育てあげた汗の結晶なのです。そして昨年の10月、「第33回全国花いっぱいコンクール」の県内の小学校の部で最優秀賞に、11月の全国審査会では運輸大臣賞に輝きました。

同校は明治6年創立の伝統校。花作りは20年も前からコツコツと続けられています。1年生に入学すると、



先輩たちや先生方に見守られながら花作りを覚えます。「始めは面倒だと思って」と、正直に話してくれた2年生の齊藤真広さんと秋田めぐみちゃん。「でも、長い休みのときは、自分から鉢を家に持ち帰るようになるんです」と、担任の奈良輪先生。自立の芽が育っていくのを、我が子のように見守るやさしい笑顔です。

花作りは、秋に近隣の山で落ち葉を集めての腐葉土作りから始まります。春には種まき作業。一番大変な

のは夏の水やり。子供たちも週に1日は朝と放課後に水やり当番が回ってきます。児童数が少ないので、先生方のご苦労もひとしお。でも、芽が出る喜び、花が咲く感動を全員で共有できるのは、何にも代えられない貴重な体験です。

さらに、正門前の「菜の花の道」には菜の花が、「やすらぎの道」にはハナスベリヒユの花が学校を縁取ります。また、ゆとりの教育は地域にも広がります。7月の山びこ集会和10月の収穫祭には、子供たちが花の種を添えた手作りの招待状で、地域のお年寄りや5世帯の保護者を迎えます。そして、丹精こめて育てた苗をプレゼント。さらに、近隣の病院、老人福祉センター、保育所、公民館にも花や苗を届け喜ばれています。夏休みには4km離れた小湊鉄道の月崎駅や、飯給駅、里見駅、上総大久保駅、養老溪谷駅を花で飾ります。無人駅はさながら花の駅に变身。これらの小さな積み重ねが今回、大きな賞につながったのです。

「始めは花作りに興味のない子もいます。でも、皆で育てていくうちに興味を持ち、主体性が芽生えていきます。そして花を咲かせる喜びだけでなく、大切に育てた花を贈る喜びを体験。いつかはボランティア精神につながれば、これがゆとりの教育なのだと思います」と、西田輝雄校長先生。さらに、「土曜休みを利用して、子供たちと保護者と一緒に近隣の山に行き、山野草摘みの計画を立てています。最近、近くでは見られなくなってしまった山野草を、校庭の“ふるさとの花”の花壇で育て、そして、増やしていきたいと考えています」と、柳池繁教頭先生。夢は大きくふくらみます。人数が少ない分それぞれの負担は大きくなりますが、先生と子供たちの団結があれば大丈夫。

子供たちのあどけない笑顔にエールを送ります。

### オススメします。 この本・・・

歩いた、よかった、ふれあった。  
田中正八郎・はるみ著

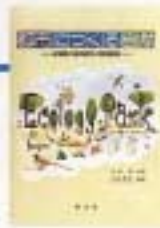


山らしい山に登ったこともない夫婦が、1,000キロを超える東海自然歩道を16年かけて完歩。二人が同じ目的を持つことの楽しさ、人生を変えてしまうほどの数え切れない出会いとふれあいを体験。東海自然歩道に関する案内書が少ない中、貴重な旅の記録を綴りました。

山と溪谷社 定価1,600円(本体1,553円)

都市につくる自然

—生態系の自然還元と管理運営—  
沼田真監督 中村俊彦・長谷川雅美編集



房総の自然を再現し、環境教育や研究に活用しようと、千葉県立中央博物館の生態園工事が始まったのが1987年。生物との共生が、そう簡単でないことを教えられた10年でした。人と自然のかかわり、特に都市の中の自然の守り方、作り方をまとめた専門書です。

信山社 定価2,900円(本体2,816円)

※抽選で上記の本を、各2名の方々にプレゼントします。ハガキに希望の書名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、(社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係へご応募ください。また、グリーンえっせんすきどこでご覧になったか、ご意見、ご要望もお書き添えください。宛先はBページの右下参照。締切りは5月31日(当日消印有効)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

### みどり通信 マイシャッター チャンス



県内の緑(自然)をテーマに撮影した写真を募集中です。撮影日時、場所、コメントを書き添えて、前記の要領で「マイシャッターチャンス係」へ。掲載された方には、オリジナルテレホンカードをさしあげます。

# 企業の中の緑

新日本製鐵(株)総合技術センター(RE)  
(富津市)

富津市新富にある、新日本製鐵株の総合技術センター(RE)。門から本館まで続く500mのアプローチ周辺は、芝生を前面に敷き、中木、高木と順に植えられ、開放的でセンスの良さを感じさせる雰囲気です。REというのはリサーチ&エンジニアリングという意味。鉄を中心とする新しい機能を持った材料の開発に取り組むとともに、新製品や革新的生産プロセスを創り出し、迅速な実用化を図っている部門なのです。つまり、ここ富津で世界の鉄の最先端技術が開発されているのです。

緑の中でリラックスできて、その結果、良いアイデアが出れば…。そんな思いからの緑化でしたが、70万平方mもある広大な敷地です。それはそれでご苦労があったようです。「なんとといっても、ここは埋め立て地ですからね。海が近く、風が強いために、木を植えるに当たっては砂地に強いものというのが第一条件でした」。こうして選ばれたのは、高木では潮風に強いタブノキ、スタジイ、アラカシ、ヤマモモなど。中木ではサンゴジュ、モチノキ、ヤブツバキ、サザンカ…。そして低木としてはトベラ、シャリンバイ、サツキ、アジサイなど。木の総数は14万本を越え、ここがかつて埋め立て地

だったとはとても想像できない程です。

ここにREが完成したのは平成3年の夏。協力会社を含めるとおよそ1,500人の社員が働いています。そして社員の皆さんも実は緑づくりの重要な戦力なのです。「毎月1回、お昼の30分を草取りやごみ拾いに充てているのです。自分たちで緑を大切に。これがモットーですから。お陰様で、まだまだ木々は若いのですが、緑化優良事業所として市の推薦も受けて…。環境管理責任者として控え目に語る人事部の中村さん。その笑顔には、優しさに満ちた誇りが感じ



られました。

REは毎年秋、この見事な環境と、研究者による実験ショー、バザー、パソコンゲームコーナーなどを内容とする一般公開行事「REテクノフェスタ」を開催。また、アプローチ周辺はオープンゾーンになっており、事前に連絡すると見学もできます。



## 森林・緑化基金へご寄附ありがとうございました。

- |                              |               |
|------------------------------|---------------|
| 中村 圭一                        | (合資) 林農社      |
| 福岡造園土木                       | 福岡造園土木        |
| 東総造園土木                       | 株日本造園土木       |
| 株六三四造園                       | 南山造園          |
| 川西造園土木                       | 株香南園          |
| 南藤造園                         | 習和産業株         |
| 株渡辺造園                        | 南鈴徳           |
| 伊東在農園株                       | 南山洋造園         |
| 株草壁園                         | 株飯塚造園         |
| 株光風ガーデン                      | 株碧樹園          |
| 株マスヤ                         | 造園土木伊藤園株      |
| 信和造園土木                       | 株平戸造園土木       |
| フタバ緑化産業株                     | 進光園緑化株        |
| 株造園土木                        | 南田造園          |
| 三協グリーン(株)                    | 南井上造園         |
| 南秋香園                         | 株志津ガーデン       |
| 株生元園                         | 株千葉植物園        |
| 株忠誠園土木                       | 株造園土木         |
| 山武造園土木                       | 株東城園          |
| 加茂造園株                        | 株福造園土木株       |
| 株植正造園                        | 株園緑地建設株       |
| 株共栄園緑化土木                     | 株本屋造園株        |
| 東金造園土木                       | 株幹樹園          |
| 株ダイカワ                        | 株鶴岡園          |
| 伊藤造園株                        | 株北樹園          |
| 高山造園土木                       | 市原造園株         |
| 千葉防砂産株                       | 株北総造園緑化       |
| 東田造園土木                       | 株飯塚緑化土木       |
| 株赤門                          | 株東松園          |
| 株成田園芸                        | 千葉造園土木株       |
| 富士造園土木                       | 株米本造園土木       |
| 南和田造園産業                      | 北総緑化開発株       |
| 株武造園土木株                      | 株いすみ造園        |
| 石川造園土木株                      | 株ヶ谷造園土木株      |
| 株成田造園土木                      | 富岡造園株         |
| 株常盤ガーデン                      | 香樹園緑化建設株      |
| 金剛緑化株                        | 千葉北部ニュータウン造園株 |
| 日本信販株グリーンカード                 | 株アイト造園ハタケヤマ   |
| 安房林友会                        | 千葉グリーンセーブルス株  |
| 森林浴参加者                       | 株京シテイサービス株    |
| 林和会                          | 株緑グリーンセールス株   |
| 第16回緑の少年団交流集会参加者             | 株緑ヶ浦カントリー倶楽部  |
| 第20回全国青樹祭参加者一同               | 株大多善民の森基金     |
| 東京電力千葉支店・TEPCO地球トーク&ライブ実行委員会 | 株緑化大会実行委員会    |

※平成8年7月から12月まで、順不同、敬称は略させていただきます。  
※寄付者総数88

## 春季・緑の募金のお願い

平成9年度 緑の募金運動

■目標額 3,312万円

3月1日から5月31日まで、県内全域で「春季・緑の募金」運動を行っています。

募金運動の方法は各市町村で異なりますが、募金は、本委員会、各支庁産業課、各市町村窓口のほか、各県民の森、JR千葉駅、千葉そごう、千葉三越、東京電力TEPCO地球館、千葉トヨペット各店、葛葉メッセ・コンベンションビューロー案内窓口などでも受け付けております。

企業・職場単位での募金も推進しておりますので、ご協力、ご関心のある際は、本委員会までご連絡ください。

県民の皆様の深いご理解と暖かいご支援をお願いいたします。

◇  
お寄せいただいた募金は、より良い環境づくりを目指し、学校や公園といった公共施設などの緑化や、緑化思想の普及啓発などに使われています。

またその一部は、“地球を救え”をスローガンに、世界規模での緑化運動や森林の整備にも役立てられています。

◇  
平成8年度 緑の募金実績額

春季・秋季に分けて2回実施し、昨年度実績を上回る総額35,898,320円に達しました。県民の皆様、また県内の企業、団体、官公庁など、各方面からの多大なるご支援、ご協力、ありがとうございます。

## 一緒に緑の中で汗をかきませんか？ 「みどりのボランティア」会員募集

昨年5月からスタートした「みどりのボランティア」は、みどりの大好きな人が集まって、県内のみどりづくりを進めているボランティア活動です。

現在すでにたくさんの方々登録し、活動していますが、一緒に活動したいという仲間を、さらに募集しています。



研修会なども開催します。経験がなくてもOK。知識や技術を身に付けることもできます。山やみどりに興味のある方なら大歓迎です。一緒にいい汗をかきませんか？

■応募資格 満16歳以上で健康な人、初心者歓迎

■問い合わせ 本委員会まで 043-225-3181

## 郷土緑化県民大会を開催します

“人とみどりのハーモニー”をテーマに「第48回千葉県郷土緑化県民大会」を開催します。大会では、緑化功労者の表彰、緑の少年団の結成、みどりのボランティアと県民参加による記念植樹、苗木の無償配布などを実施。同時に高性能林業機械の実演や森林浴・かずさアカデミアパーク見学会、特産物展示即売会なども行います。気軽にお出かけください。

■日時 4月29日(火・祝) みどりの日

■会場 かずさアカデミアパーク内

「かずさ2号公園」(木更津市)



### ●季節の花・海棠(カイドウ)●

バラ科の落葉灌木で、高さは2～8mくらい。南側の日当たりの良い所を好む。花の美しいハナカイドウ、実が食用になるミカイドウ、野に自生するノカイドウなどの種類がある。写真はハナカイドウ。3月末から5月中旬にかけ、赤みを含んだ若芽と同時に、淡紅色の美しい花が房状に垂れる。花が終わると、球形の黄赤色の実を結ぶ。花言葉は温和。

里ずみの春雨降れば傘さして君とわが植う海棠の苗

与謝野品子

写真提供/古野 儀 氏

## 表紙の絵

表紙の作品は、平成8年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校高学年の部で千葉県知事賞を受賞した、勝浦市立行川小学校4年・大野綾乃さんの作品です。



## グリーンえっせんず 第10号

1997年4月1日発行

発行/ (社)千葉県緑化推進委員会

〒260 千葉市中央区長洲1-9-22 森林会館

TEL 043(225)3181 FAX 043(225)3255

編集/凸版印刷株式会社 TEL 043(245)7071

この広報誌は、再生紙を使用しています。